

新型コロナウイルス感染防止のため、本誌掲載のイベント・講座などは、変更・中止する場合があります。

もくじ

えび人 vol.48	02	市民の広場	11
今号の表紙	03	ホール・ギャラリー	12
HUGHUG子育て	04	相談	13
海老名市の職員数・給与の状況	06	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日日時・日にち 期期間 時時間 場場所 対対象 員定員
 内内容 講講師 費費用 持持ち物 他その他 任任期
 条条件 主主催 Eメール ホームページ 問問い合わせ
 申申し込み 予予約制 祝祝日を除く 休休み

高齢者対象の教室など
 えびな健康マイレージ対象

市制施行50周年記念事業

市外局番…省略している場合はすべて「046」です
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな

コロナの終息を願って書きました。
 社家小学校 石山瑛翔さん(11歳)



写真

タイトル：お陽さまのおでまし
 撮影場所：県立相模三川公園
 撮影者：上郷在住 齊藤隆雄さん



編集雑記

新年から新コーナーを始めます。毎月15日号で、中学生が夢に向かって頑張っていることを紹介していきます。子どもの頃に明確な夢がなかった私は、広報を通じて子どもたちの夢に関われることが楽しみです。広報に載った子どもたちの中から未来のスーパースターが生まれることを期待しています。(け)



地域をあいさつでつなぐ

児童にお話を聞かせたり、小学校で昔遊びを教えたりとさまざまな活動を続ける大沢さん。子どもたちとのふれあいが一番の楽しみです。「おはなしたまてばこで語るお話は全部暗記して、毎日復習しています。小さい頃からお話を聞きに来ていた子が、今度はお話をする側で来てくれたことがありました。こういう出来事はとてもうれしいですね」
 「子どもと会ったら『元気？』の一言だけでも必ずあいさつします。反応が薄かった子も返してくれるようになってきました」と、あいさつから心が通じ合えるうれしさを広げたいと話します。
 好きな言葉は「和氣藹々」。『いろんな活動をしているけど、みんなが『今日は楽しかったな、来て良かったな』とってくれる。それが一番の幸せかな』。大沢さんの穏やかなあいさつと、子どもたちを引き付けるお話の活動は、地域を和ませ住民たちをつないでいます。



日課の散歩は国分寺台第三児童公園を拠点に



おはなしたまてばこの仲間たち

今月のえび人

おおさわかずお
 大沢和夫さん
 (国分寺台在住・85歳)

ゆめクラブ第2若木会会長、おはなしたまてばこ会員。地域で幅広く活動中。海上自衛隊時代に世界中を航海した経験が人付き合いに生かされているとも。落語が好き。